

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

今回の題字は、
美土里町 菅野康男さん



写真は、
四季の里写友会 傳道秀樹さん

第12号
12月定例会

福祉対策は**万全**…………… 4

ごみの減量は…………… 5

農地の有効利用…………… 8

災害復旧…………… 14

8億5,500万円

会派報告…………… 16

災害対応…………… 18

(一般質問13名)

地域の**か**がやき…………… 26

2007(平成19)年2月1日発行

19年度から

決算審査は9月に

平成17年度安芸高田市の、一般会計決算やその他10の特別会計決算の認定案が、11月24日開会の臨時議会で上程された。審査については本特別委員会に付託され、7日間にわたり、部局ごとに慎重に審査を重ねた。

●**行財政改革の体制整備**

●**未収金の回収強化**
など多くの意見が出た。

決算審査での意見等が、19年度の施策に反映させることができるよう早期の決算報告を要望し、全て原案どおり認定と決した。

決算審査特別委員長
今村 義照

19年度

7億8,000万円

収入減

Q 決算の結果を見て19年度財政分析は。

A 19年度は収入が7億8千万円減ることが予想されます。

Q 決算審査の時期を早くできないか。

A 19年度は9月定例会で決算審査できるように努力します。

Q 人的業務委託制度のメリットは。

A 社会保険料の事務が業者に移ったことによる業務量の減少と、14名の職員減に対する新規職員を補充することなく対応できることです。

Q 支所別懇談会の今後は。

A ● 通告以外の質問も取り上げるよう時間配分を検討します。

● 出前講座等で説明する機会を19年度に計画します。

● 市政に市民の声を反映します。

● 主要施策の周知についても意見の疎通の場になるよう努力します。

Q 厳しい財政状況の中で職員の「行財政改革」の認識は。

A 全職員を対象として各課・係から問題提起をさせ、19年度の予算方針をつくらせ、各部を巡回して改革を周知徹底しています。

Q 市民活動保険制度の利用状況は。

A 3件の届出があり、清掃活動中の転倒などでいづれも数日間の通院ですんでいます。



市民の声が政策に反映

生活
乗り合い

バスの合理化

広報誌の充実

Q 今後の地域振興会の助成金は。

A ● 縛りのない「活動支援金」2, 400万円は継続します。

● 「事業支援助成金」1, 800万円は、申請内容により交付します。

Q 生活バス、乗り合いバスの状況は。

A ● 通学通勤の向上を図るために時間帯を見直します。

● 高齢者に対する利便性、料金も検討します。

● 12月に生活バスの調査結果が出ますので、大幅な合理化を図ります。

Q 子ども安全対策で配布物の状況は。

A 防犯ステッカーは市民対象に2, 000枚、防犯ベスト1, 000着は振興会を中心に配布しました。防犯マグネットは100枚で公用車用です。

● 年末に届く、市長・議長の新年の挨拶は検討します。

● 情報開示についても市民に伝えるよう努力します。

● 市民参画の広報誌になるように研究します。

Q 市の広報誌の充実は。

A ● 決算内容は各課と連携をとってわかりやすくします。

● 市民参画の広報誌になるように研究します。

Q 市のホームページに意見はあるのか。

A 質問や意見が251件あり、担当課が回答しています。

Q テレビ難視聴地域の対策は。

A 地上デジタル放送や国の制度を踏まえて検討します。

Q 高齢者の家庭訪問防火指導は。

A 対象世帯1, 760件の内1, 500件で、暖房機器、電気、ガス点検指導しました。

Q 救命講習会の内容は。

A バイスタンダーは救命救急でも重要なので、今後も取り組みます。



生活に密着したバス計画を

ひとし
メモ

バイスタンダー

事故現場に居合わせた人が、救急車到着までの間消防署の電話指示等で適切な救命処置をすることにより、救命率を上げることができます。

福祉対策は万全

Q 各福祉事業の今後。

A 高齢化が進み、先を見越せば基金も必要になってくると思います。

Q 借金返済額が最高となる平成22年に向けて事業の維持向上は。

A 長期総合計画はローリングをかけてながら精査し、介護保険、障害者プランは計画性をもって進めていきます。

Q 補助金力カットが交付団体へ与える影響は。

A 影響は、各団体の性質により異なるので、今後、団体と協議したいと思っています。



福祉事業サービスが充実している「かがやき」

Q 向原特別養護老人ホーム「かがやき」の開所状況は。

A 現在市民46名が入所され、施設

は介護保険に直結しており、在宅介護予防にも力を入れていきます。他の施設よりはホテルコストが

高くなっているが、入所申込みも増えています。

Q 現在の福祉サービスを何年続けられ、どのような事業を残すのか。

A 具体的に個別の事業の精査は難しいが、ソフト部分の充実が必要で、伸ばす事業・新たな事業のニーズを検討しながら進め、評価制度を取り入れる必要があると思います。

ひとしりメモ

ジェネリック医薬品

新薬（先発医薬品）は20～25年は特許に守られ、開発したメーカーが独占的に製造販売することができますが、特許期間が切れると他のメーカーも同じ成分の薬を製造できます。その薬の価格は新薬の2～8割に設定されています。

Q ジェネリック医薬品は、経費削減に。

A 普及すれば、効果は約2億円弱が見込まれます。広報等の活用で推進します。

ひとしりメモ

レセプト点検

医療機関や調剤薬局などからの診療・調剤報酬明細書（レセプト）の内容を受診者の保険資格などを点検し、適正な医療費の支払いを行うために実施するものです。



レセプト点検で効果（甲田支所にて）

Q レセプト点検の効果は。

A 審査強化で、過誤を発見し、約2千万円の財政効果が高めることができました。

ごみの減量化対策

資源は大切

Q 生ごみ処理機の普及状況は。

A 13年度から実施し、17年度現在で1,374台の利用者があり、生ごみの減量につながっていると思います。

Q 資源ごみ回収の助成金は。

A 対象は古紙・アルミ缶・スチール缶で1kgに対してすべて同額の4円の助成金を出しています。

Q ごみ減量化対策は。

A 各団体のごみ減量化・リサイクルの意識も高まり、市・市民・事業者が協力して資源を大切にする「まちづくり」をします。

各町の実績状況

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	計	
生ごみ処理機 (台数)	419	43	96	154	195	467	1,374	
資源ごみ	古紙(t)	210	79	10	0	46	469	備考 17年度の資源ごみ 助成額は205万円 です。
	アルミ(t)	10	0	1	2	8	25	
	スチール(t)	7	0	1	0	9	20	
回収団体数	51	2	4	1	1	14	73	

*生ごみ処理機は、13年～17年の合計です。

*資源ごみ・回収団体数について各町で方式が異なっていますので、数字については格差が出ています。



ごみの分類で地域の財源に

Q ごみ不法投棄防止は。

A 市公衛協と連携し、立看板の設置、不法投棄防止のパトロール・回収を実施します。
また、地域のごみステーションの整備など総合的に取り組みます。

知・徳・体

Q 美土里中学校「朝光寮」の今後は、現在入寮の生徒（18名）もいますし、耐震化も大丈夫です。当面存続方向で

ひとくすメモ

LAN

パソコン等の端末装置を通信回線で接続し、相互にプログラムやデータを伝送するネットワークで、同一建物内など限られた距離の範囲で使用されます。

Q 校舎内LAN工事は、18年度で完成予定です。



通学問題解消の朝光寮

Q 「知」の部分の特色ある学校づくりを見直す時期では。
A 義務教育では「知・徳・体」のバランスが必要で、各学校長を中心に、底上げをします。

Q 国際交流事業の派遣基準は。
A 各振興会会長の推薦で取り組み、報告会等も行っています。

Q 吉田「温水プール」の手狭なウォーキングコースの改善は。
A 水泳プールの底上げをすると、「水」の循環が悪くなるという問題があり、再度検討を進めます。

Q 保護者を対象とした家庭教育講座の参加人数が少ないが。

Q 総合型地域スポーツクラブの推進で財源は。
A 文科省は、各学校区毎の設置としていますが、市の補助金の見直しもあり、できる限り自主運営を考えています。

Q 男性参加率が低いので、開催曜日の検討等を行い、PTA組織を通して呼びかけをします。

ひとくすメモ

総合型地域スポーツクラブ

住民の誰もが、それぞれの年齢、興味、目的に応じて、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しむことができることを目的としたスポーツクラブです。



こはるびより 小春日和はゲートボールで健康づくり

除雪対策

Q 道路整備の集中化は。

A 計画路線の用地確保に努力し、2車線計画を1.5車線等への変更を考え、早期完成をめざします。

Q 除雪、除草対策は。

A 除雪は業者委託で行っており、今後、県と各支所間の連携を強化し、バ

ス路線優先で、生活道確保に努力します。

また、除草対策は、各支所で実施方法が異なり、統一が必要です。

Q 下水道整備の早期完成を。

A 整備率は17年度55%です。先行き、財政が非常に厳しい中、限られた予算で計画どおり進めるのは困難です。

Q 郷野地区（吉田町）の下水道は。

A 浄化槽整備に変更し、18年度は30件の申請があります。

Q 下水道料金の統一化は。

A 18年度で実施します。

Q 今後の住宅政策は。

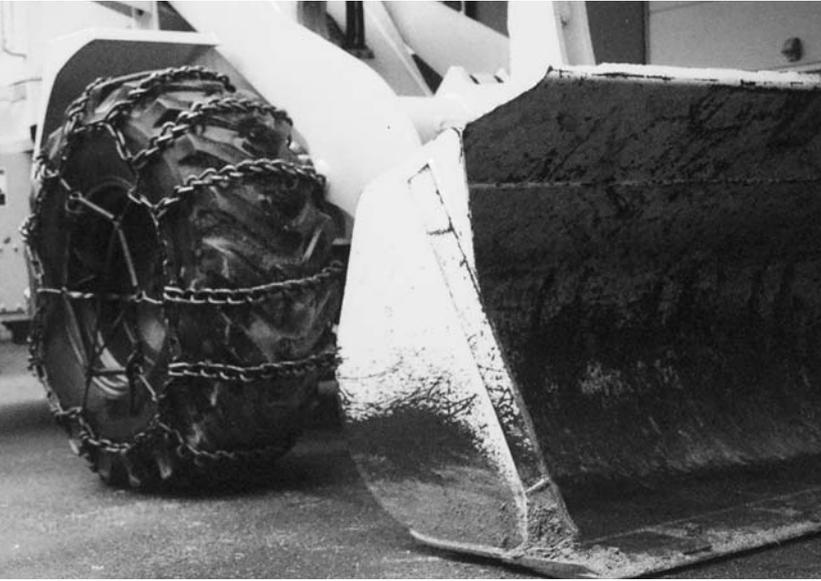
A 市営住宅326戸の管理を行い、今後は狭小で老朽化した住宅の修繕、建替え等が課題で民間業者の活用も検討します。

Q 樋門管理者の身分と災害補償は。

A 地方公務員に該当し災害補償法により対応します。

Q 通学路整備は、教育委員会との連携を。

A 県と協議し未改良区間を優先に歩道整備を進めています。今後、交通安全対策協議会、教育委員会などの連携で子どもの安全対策を進めます。



待機している除雪車



樋門管理者に安全を

担い手の人材育成



経済効果に産直市が貢献

Q 観光産業の成果は。
A やまなみ大学、北の関宿、産直市などが調査対象で、観光客は、約6.5%アップの165万人で、約22億円の経済効果がありました。

Q 農道舗装は。
A 国県補助対象である法人化、認定農業者地域を中心に進めます。
Q 農道台帳の整備率は。
A 農地全体の1/3が未整備で、20年に完了予定です。

Q 農業基盤整備後の活性化は。
A 法人、認定農業者、JA等の意見を集約し、稲作以外の野菜、畜産等にも活路を求めます。

Q 農地をどう守るのか。
A 認定農業者、法人、地域営農などの育成と農地の利用権の設定を推進し、農地の有効利用を図ります。

Q 有害鳥獣駆除の成果は。
A イノシシ851頭、シカ1,083頭、カラス105羽です。

農地の有効利用

安芸高田市内の農地利用権設定状況

(単位：ha・%)

農家台帳 18年7月7日 現在				16年3月末
	農地面積	利用権設定面積	利用権設定率	ほ場整備率
吉田町	1,231	229	18.6	62.7
八千代町	364	30	8.2	51.7
美土里町	919	171	18.6	77.7
高宮町	1,112	346	31.1	87.3
甲田町	885	124	14.0	64.4
向原町	687	218	31.7	91.7
計	5,198	1,118	21.5	74.7

利用権設定率を上げることによって、荒廢地を減らすことができます。

マニアスプレッダー導入



堆肥散布で活躍するマニアスプレッダー

総務企画委員会

12月定例会で委員会付託された安芸高田市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例のほか4件を12月14日に審議し、いずれも原案どおり可決しました。

委員長 山本 三郎

主な審査

○過疎地域自立促進計画の変更については、後期過疎計画の中で17～21年に経営近代化施設として「マニアスプレッダー（堆肥散布機）」を整備するものです。

Q 経営近代化施設の整備事業で該当する事務や、市独自のメニューを広げている可能性は。

A 現在の財政状況の中で必要性和効果を十分に吟味して考えます。

Q 長期継続契約をした場合のメリットは。また具体的な削減目標は。

A メリットは長期契約で事務の簡素化が考えられます。削減目標は長期割引等の適用で役務費の5%～10%削減を見込んでおります。

Q 基幹集会所を指定管理者制度とするメリットは。

A 運営上は、地元負担があるが、メリットは、使用料の設定や徴収などが地元で自由に決定できることです。



民営化で郵便業務サービス低下に不安

主な継続検討課題

このたび委員が改選となりましたが、次の事項は引き続き審査していきます。

- ・国民保護計画
- ・乗合タクシー等の生活交通

●陳情は継続審査

- ・行財政改革推進等
- ・防災における総合的な情報基盤の整備
- ・事務権限移譲
- ・防犯灯
- ・個人情報保護

●日本郵政公社の郵便局再編計画に関する陳情

●電気設備工事の分離発注を求める陳情

支援策の充実を

文教厚生委員会

12月定例会で付託された議案5件請願1件を12月19日に審査し、いずれも原案どおり可決しました。
また、臨時会で付託されていた議案1件、継続審査になっていた請願1件を審査し可決しました。

委員長 亀岡 等

主な審査

○広島県後期高齢者医療広域連合を設立

Q 広域連合立ち上げによるメリットは。

A 後期高齢者の医療費の縮減が必要で、広域化により財政基盤を強化し、事業運営することが有効と思われま

○市税条例一部改正

Q 定率減税廃止による影響の推計は。

A 18年度対象者は13,736人で

税額で計算すると約5,500万円の増となります。

請願採択

国に意見書提出

(1) 障害児の福祉医療サービスの負担軽減と地域支援事業の充実を求める請願書

委員会では、原案のとおり採択し、自立支援法施行による負担増は、障害者全体に及ぶことから障害者全体に支援が必要であるという意見となりました。

(2) 障害者が安心して地域で暮らすための施策の充実を求める請願書

障害者が安心して暮らせる地域社会づくりを目指して具体的な施策が確実に実施されることの請願が、障害者関係5団体から提出されました。請願事項は応益負担の軽減など9項目で、いずれも切実な内容であり、採択し、市に要請しました。

これら2つの請願をふまへ、施策の改善を求める意見書を国に提出しました。

継続調査

● 乳幼児医療費助成制度の拡充に関する要請書

● 国の医療病床の廃止・削減計画の中止の意見書採択を求める要請書



障害児に温かい支援を（ふれあいの家 たんぽぽ 美土里町）

Q 土地改良事業完了後の地域営農計画は、事業着手と同時に、協議、指導に取り組みべきと思うが。

A 現在集落営農を推進しているが、今後も農業技術指導員を中心にJAと連携し推進します。

主な審査

産業建設委員会

12月定例会で付託された議案9件を12月18日に審査し、いずれも原案どおり可決しました。

委員長 川角 一郎

開発・振興・販売

兵庫・和歌山県を視察研修 (10月4日~6日)

			
視 察 先	粟野農場 (兵庫県篠山市)	田辺市梅振興課 (和歌山県)	御坊クリーンセンター (和歌山県)
目 的	個人農家による営農の可能性	梅の振興と販売戦略	急がれる「し尿汚泥処理施設更新計画」の参考にするため
事 業 説 明	能力と規模のバランス・機械更新などを見越した、長期経営計画により安定経営を行い、生産、販売、交流の総合産業を目指している。	市はJAと「うめ振興協議会」や加工業者を加えた「紀州うめの会」を組織し、事務局として梅振興に取り組んでいる。	汚泥をゴミ焼却施設でゴミと混焼することにより、経費の削減を図っている。
本 市 の 課 題	水稻中心の我が市に於いて、関係機関が一体となり、減反政策に左右されない営農や特産品の開発、振興がどこまで出来るかが課題である。		「広域きれいセンター」の焼却能力と、脱水設備、運転経費の比較等課題がある。

吉田少年自然の家調査委員会

委員長 赤川三郎

18年早々市長報告で、県は19年3月で県立「吉田少年自然の家」を廃止すると報告があり1年を迎える。

18年6月に調査特別委員会（委員9名）を設置し、現況視察等調査を行い施設の現状把握の上、執行部から提案された施設利活用、リニューアル構想について7回の委員会を開き議論してきた。

18年12月20日開催の全員協議会のなかで、委員以外の意見を聞く場も設けた。

19年1月17日開催の第8回委員会では、これまでの委員会や全員協議会で出された意見について、執行部から回答、説明を受けた。



審議の結果

19年度においてリニューアルすることを了承し、それに伴う予算計上することを認めた。

運営方法については、各機関・組織等が連携したプロジェクトチームにおいて検討されたものを、本委員会で審査していくことになった。

第2庁舎・文化保健福祉施設建設調査委員会

委員長 藤井昌之



11月8日開催された委員会は、実施工程、現在の工事の進捗状況、関連事項の工程、議場録音録画などのシステムについて詳細な説明を受けた。

【主な質疑】

Q 市庁舎（完成後の）全般、第1分庁舎との関わり・子育て支援センターや地域包括支援センター等の構想は。

A 関係部署での協議のピッチを早め、具体的設計に入る前に基本的方向を決めるように考えています。

1月11日開催された委員会では、支所等の備品の有効活用や分庁舎の跡地利用を今後どう審議するかなどを議論した。

第3セクター健全化

〈審査の日時〉

第5回(8/7)第6回(8/30)
第7回(9/28)第8回(10/31)
第9回(11/27)

八千代タウン開発(株)の

調査を終結

八千代タウン開発(株)は私的整理し、19年2月1日安芸高田市への譲渡はほぼ確定した。

運営については、指定管理者や内容の質疑を行った。

今後は、設置管理条例等の審議を、常任委員会及び本会議で行うこととし、八千代タウン開発(株)の調査は終結した。

第3セクター全体については、6つの団体を調査することとし、第9回の調査では、「安芸高田市第3セクター等健全化計画」に沿い、(財)八千代開発公社、(財)安芸高田市地域振興事業団の詳細調査を行った。これらの財団法人は地域の歴史的背景で、地域貢献と経営効率といった相反する面があり、指定管理の方法や事業統合も視野に入れた課題等が山積みしており、更に調査することにした。次回は株式会社2社を詳細に調査することとした。



(財)安芸高田市地域振興事業団



(財)八千代町開発公社



(株)神楽門前湯治村

調査対象の6団体



(株)虹の農場



たかみや湯の森運営協会



エコミュージアム川根運営協会

費 8億5,500万円

12月定例会は、12月8日から12月20日までを会期として開かれ、各会計補正予算と条例の改正など29の議案を審査し原案どおり可決した。一般質問は13名が市政を問うた。

補正予算

一般会計補正予算は12億9,475万円を追加し、総額230億1,698万円です。一方、特別会計(11会計)では、1億6,145万円追加で、総額167億3,826万円です。本市の予算総額は397億5,525万円となりました。

主な事業

災害復旧費 8億5,573万円

- * 農地 60箇所
 - * 農業用施設 40箇所
 - * 林業施設 10箇所
 - * 道路 43箇所
 - * 河川 30箇所
- ※9月の台風13号災害によるものです。

災害対策費 2,520万円

- * 職員の人件費延378人 8,659時間
- ※9月の台風13号災害に関連するものです。

小災害復旧事業 3,000万円

- * 農地・農業用施設関係352件
- ※主に9月の台風13号災害によるものです。

砂防費 1,128万円

- * 八千代町土師の急傾斜地崩壊対策事業

民生費 9,837万円

- * 障害者自立支援事業
- * 児童手当給付事業(支給対象が小学校6年生まで引き上げ)

鳥獣対策事業 420万円

郡山公園遊歩道整備 431万円



恐怖の水害現場 楢木川 田 崩壊(八千代町)

かわりました
議会構成

議長 松浦 利貞
副議長 渡辺 義則

○ ◎ 総務企画
山本 三郎
明木 一悦
加藤 英伸
赤川 三郎
熊高 昌三
玉川 祐光
岡田 正信
松浦 利貞

○ ◎ 文教厚生
亀岡 等
秋田 雅朝
松村ユキミ
藤井 昌之
青原 敏治
今村 義照
渡辺 義則

○ ◎ 産業建設
川角 一郎
塚本 近
田中 常洋
金行 哲昭
杉原 洋
入本 和男

○ ◎ 議会運営
杉原 洋
岡田 正信
熊高 昌三
藤井 昌之
金行 哲昭
亀岡 等

○ ◎ 議会広報
入本 和男
加藤 英伸
明木 一悦
秋田 雅朝
塚本 近
松村ユキミ

◎委員長 ○副委員長

補正予算 災害復旧



自立支援に協力の清風会（吉田町）

林道修繕費	390万円
*小規模な修繕工事13ヶ所	
火葬場運営費	354万円
消防施設費	994万円
*防火水槽3カ所 甲田(1)美土里(2)	
浄化槽施設管理費	211万円
*浸水による故障の修繕	
下水道施設管理費	653万円
*向原処理区に落雷の為	
介護予防高齢者施設費	2,350万円



イノシシ・シカ対策の防護網

新政会

(9名)

代表 川角 一郎

自治体議会政策学

会の政策講座受講

東京(7/12~14)

4人の講師による、自治の原点と未来について研修しました。今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。

○議会は市民の代表なのかー自治体議会の原点

講師 竹下 謙

○人間の尊厳を守る ネットワークー介護の理念のランクアップ

講師 堀田 力

○耐震偽装問題と自治体の責任ー市場化と公共関与

講師 青山 侑

○自治体をどう考えるかー集権下から分権下へ

講師 佐々木信夫

講演の受講

○広島市(11/21)

講師 片山虎之助

地方行政課題に関する事について研修しました。

安芸高田市内の国・県指定文化財の現地研修(12/22)

吉田歴史民俗資料館の川尻学芸員に現地同行して頂き説明を受けました。

改めて文化財の歴史と管理の重要性を痛感しました。

郡山城(吉田)

戸島大塚古墳(向原)

五龍城跡(甲田)

児玉家住宅(甲田)

山内逆断層(高宮)

佐々井厳島神社本殿

内玉殿(八千代)

木造先手観音著薩立像(清住寺、吉田)

改めて文化財の歴史と管理の重要性を痛感しました。

改めて文化財の歴史と管理の重要性を痛感しました。



八千代町佐々井 厳島神社

政友会

(4名)

代表 山本 三郎

視察研修報告

自治政策講座 東京・神戸に参加

東京会場 7月13日~14日

テーマ

自治の原点と未来

講座内容抜粋

自治体議会をどう変える

温暖化防止と自治体

研修報告要約

議員として情報を反映した民意を再認識し専門性と能力を高める。

議会は審査機関と立法機関の活動と、予算書を精査する能力を持ち、自治体も事業官庁から政策官庁へ変わる必要があることを研修。

本市も地球温暖化対策実行計画で、CO2排出量削減を目標とし、バイオマスについて研修。

神戸会場 10月18日~20日

テーマ

危機管理・防災のまちづくりと議会の役割

真の防災は「いいまちづくり」から

防災対策の課題、マニュアルと情報

研修報告要約

マニュアル化すべき重要事項に被害抑止力、災害対応力・最適復旧の再考があり、議員・職員の対応策、業務分析を研修した。

神戸会場研修をもとに金哲昭議員と田中常洋議員が施策を問うた。

一般質問

神戸会場研修をもとに金哲昭議員と田中常洋議員が施策を問うた。

視察研修した野島断層北淡震災記念公園(兵庫県)



視察研修した野島断層北淡震災記念公園(兵庫県)

公明党

(1名)

代表 藤井 昌之

公明党会派は、議員のあり方から見て、また税金の無駄遣いをストップさせる立場から平成18年3月20日に「地方議員の表彰制度辞退」の申し入れを、安芸高田市長及び市議会議長長宛に提出いたしました。

○褒章、勲章

○市制功労者の表彰

○全国市議会議長会、中国市議会議長会からの議員永年表彰

○これらの受賞に伴う行政（首長など）からの祝金、記念品。

今後の取り組み

○議員定数削減についての推進。

○行財政改革、教育、福祉の向上。

○葬斎場建設の推進

○県立少年自然の家の市へ移行後の有効活用の推進。

研修会の取り組み

8月 バランスシート、行政コスト計算書の分析。

10月 政策立案と条例制度。議会運営のあり方。

1月 地方議会の制度と運営の実務。自治体トップフォーラム。

あきの会

(5名)

代表 青原 敏治

合併をしない

「自立のまちづくりを

めざす矢祭町」を視察

10月18日 福島県矢祭町

視察団体は多く、北から南まで12団体111人の参加者を会議室で矢祭町長が対応されました。

職員は自立した町運営に危機感を持ち施策提案をされ、町長がいち早く実行されます。例えば、「公共料金支払・納税に地元商店会スタンプ券・商品券の利用」提案は、介護保険料、水道料、町営住宅使用料、保育料、幼稚園授業料、町税納付をわずか9日間で実行されています。我々も行政改革ポイント、職員意識改革とリーダーシップであることを再認識し、いい提案にすぐ取り組める環境づくりが必要であると考えます。

マニフェスト大賞

にノミネート

11月11日 地方議員政策コンテスト「第1回マニフェスト大賞」は、全国初の試みとして開催され、全国から136団体221件の応募があり、マニフェスト大賞部門23団体29件中、「あきの会派」の事例が5つの大賞ノミネート策に選ばれました。

あきの会

会派マニフェストを

研修

11月26日 広島義塾6名が、県内では

会派マニフェストが少ない中で、会派マニフェストへの取組みや実行性などの研修に來られました。

ひとすメモ マニフェスト

政策課題について具体的な目標や達成期限などを明示した文書。

行動します。

「4つの宣言」

安芸高田市議会
あきの会 政策公約
ローカル・マニフェスト

4つの宣言

- 開かれた行政
～市民のための市役所～
- いきいき経済創出
～市民の経済力アップと市の財政力向上～
- 人づくりで未来を開く
～一人一人の豊かな心を協育でつくる～
- いのちと財産の安全安心宣言
～子どもからお年寄りまでいきいきと～

市民クラブ

(1名)

代表 亀岡 等

新会派設立

18年12月25日

住民意志の決定に、代表権を与えられていることの重責を踏まえて、常に行政の主要課題の調査研究に努め、市民の期待に応えうる市政の実現にむけ、行動する政策会派として活動します。



青原敏治
〈あきの会〉

職員の駐車料

市長／4月から導入

青原 行政改革の進捗状況は。
市長 行財政改革大綱に基づく実施計画を策定し、それぞれの項目について進捗管理をしながら行財政改革の取り組みを進めています。



全職員が有料駐車場に

喫緊の課題ですので、議員のご協力もお願いしたいと思います。
青原 改革による「痛み」を行政は市民ほど感じていないと思う。職員駐車場利用料金の徴収は。

市長 職員のコスト意識を醸成、適正な自主財源の確保という観点から、負担・徴収方法などを最終調整し、平成19年4月からの導入を計画しています。

名が問う



田中常洋
〈政友会〉

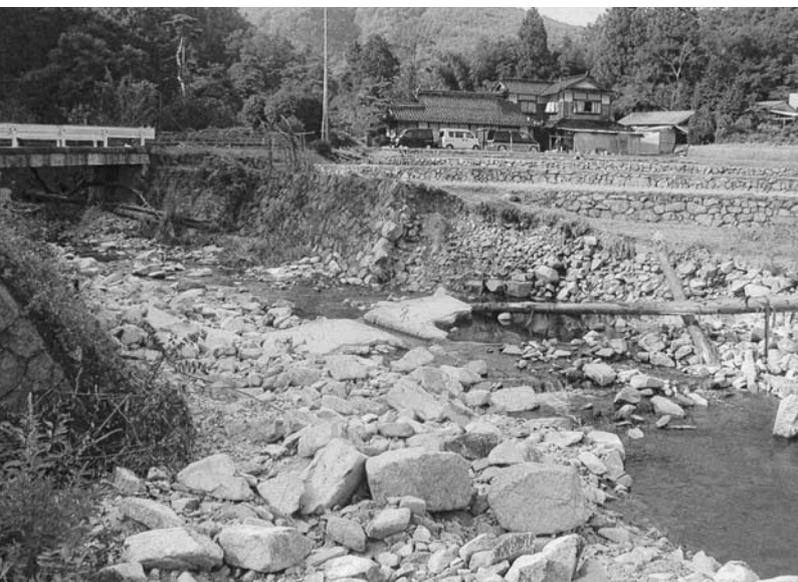
田中 台風13号の集中豪雨で甚大な被害の爪跡を見るに、「安芸高田市防災計画」の機能は。職員の配備体制は。
市長 今回の集中豪雨は休日の夜間に発

災害補助金

市長／市独自の取り組み

生し、職員の配備体制が困難な状況でした。今回の反省をふまえ、防災調整会議等により、副市長制導入による地域密着型の「防災計画書」の作成に取り組みます。

田中 市独自の補助金制度は。
市長 被災地に対する市独自の補助金制度の創設は県の制度に準じて設定しました。



河川の災害地（八千代町）



塚本 近
〈新 政 会〉

塚本 災害時の援護物資の供給配送基準は。
市長 今回の災害は被害ヶ所213件と大きな爪跡を残しました。物資を供給する数量的な物は行政で確保しており、供給基準としては、避難勧告を受けた方々へ、基準をもうけて実施しており全家庭に供給はできない状況です。
今後は、被災者の早期状況把握に努め、関係機関と協議を行い、安心して住める行政を進めます。

塚本 普通財産の管理と運用策は。



水源が求められる横田地域

災害時の援護物資

市長／安心して住める地域

市長 売払い財産の選定委員会等を設置して処分方法を検討し、一般財源や自主財源の確保に充てると同時に管理経費の削減に努めます。

塚本 水道事業で18年間7,800万円投

資した美土里町横田地区の水の問題は。
市長 水量、水質等の調査の結果、いずれも適合せず今後は、事業の計画等の見直しを行い、自己ボーリング等の助成事業で対応します。



明木 一悦
〈あきの会〉

女性の登用

市長／能力開発

市政を13

明木 児玉市政最大の課題、財政健全化政策は。

市長 町政時代の事業を継続し、新市建設計画も順調な進捗状況のなかで、課題は、適切な行政サービスの提供であり、財政健全化は、その前提条件で課題そのものではありません。

明木 19年度予算での財政健全化政策は。

市長 22・23年度財政が一番厳しい時期に向け合理化、予算のスリム化が必要であり、財源確保と人件

費や扶助費など経費見直しを図り財政健全化をおこないます。

明木 障害者雇用拡大など障害者支援や福祉政策は。

市長 職員の雇用拡大、作業所運営支援やハートフル農園等取組んでいます。単市での福祉政策は、財政的に非常に厳しい状況です。

明木 管理職へ女性登用の拡大は。

市長 女性職員の職域拡大・能力開発など努力します。



管理職に女性の登用は



玉川 祐光
〈新政会〉

経済・福祉・教育
市長／産学官の交流

玉川 地域高規格道路（東広島・高田間）の完成が市民の暮らし（経済・福祉・教育等々）にどのような効果が？

設により東広島を中心とする臨空都市圏と産学官にわたる様々な分野での交流や、つながりが強まることが見込まれ、所用時間の大幅短縮で通勤、

通学が十分可能となり人口流入の受皿、企業誘致の促進、地域雇用の場の確保などの地域振興及び消防、救急業務等の迅速化に寄与すると確信します。



地域高規格道路の吉田町側

玉川 合併支援道路としての役割は。

市長 向原・吉田間は危険箇所解消と懸案課題の戸島捻橋付近の交通危険箇所の整備、戸島川の改修で水害の危険解消等地域の一体的な環境の整備につながり広島市、東広島市方面からの安全な玄関口としての役割が高まるものと期待をしています。

樋門管理は危険
市長／操作の現地研修



赤川 三郎
〈新政会〉

赤川 自然災害多発の折、一斉に情報伝達が必要、市内密集地域に防災野外スピーカーやサイレン等の設置は。

市長 現在同報系防災無線は、八千代、向原に設置、他の4町はJAの有線放送利用で加入率の低い地域もあります。防災無線の整備は現在検討中で、隣近所、自治防災組織のあり方について今後検討します。

赤川 樋門操作は昼夜を問わず危険な作業であるが、操作員の研修会は。

市長 樋門管理は地域の操作員に委託し、河川の水位状況により操作をお願いしています。今回の豪雨状況を踏まえ国交省三次河川事務所の指導と連携し研修を実施しました。今後も河川水位と内水排除の問題等、ほ場整備樋門も合同で研修会を実施します。



防災通報で活躍 野外スピーカー

亀岡 担い手農家の育成と支援策は。
市長 担い手農家の育成は市の重点施策として位置付け、経営安定の面から水稲と野菜等の複合経営

農業どう守る

今後、担い手農家の育成と支援策は。市は、担い手農家の育成は市の重点施策として位置付け、経営安定の面から水稲と野菜等の複合経営と野菜等の複合経営へ



亀岡 等
 〈新政会〉

市長／情報を公開

厳しい財政

への支援に取り組んで行きます。

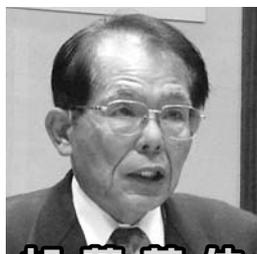
協働のまちづくりについて

亀岡 実際の場面になると行政側の考え方を優先し進められている状況がある。一考すべきではないか。

市長 行政としては議会の議論を踏まえて市民の皆様にご理解をいただくものであり何ら行政の考え方を優先する態度をとるものではありません。ご理解をお願いします。



農業の次世代を担う増岡くんと光永くん。
 (光永くんは、3月からオランダへ農業研修)



加藤英伸
 〈新政会〉

滞納金7億円

市長／差し押さえ処分

加藤 保険税を含め市税の未収が心配されている。又、7億円の滞納金はどのように整理するのか。

市長 未納者については電話や戸別訪問を通じて納期厳守を指導しております。

滞納については分割納付等の対応もしておりますが、悪質未納者に対しては差し押さえ等の処分を強化します。滞納整理は対策本部の強化も図り早期解消に努めます。

加藤 小中学校のいじめの現状と対策は。
教育長 市内小中学校の児童生徒が11件のいじめにより悩んでおります。各事実に対応した形で指導しており現在では8件が解消に向かっております。

今後は組織的に取り組み、教職員の感性を磨き、いじめをうまない土壌作りを努めます。



環境のよい美土里小学校

過疎化・高齢化

市長／企業立地助成制度



金行 哲昭

〈政友会〉

金行 地域全体の成長発展という視点から進めている「総合計画のプラン」の実施計画及び進捗状況は。

市長 前期5年間に実施する事業を精査したところです。毎年財源が不足してお



企業立地助成制度で地域に活力を

り、今後投資的事業をさらに精査するとともに義務的経費にも切り込み、実効性のある総合計画にします。

金行 若者の地元定住に結びつける、企業立地助成制度を。

市長 具体的な検討の段階であり平成19

年度からの適用に向けて事務を進めています。

金行 災害発生時の対応として早急に地域防災組織を。

市長 関係機関と連携し防災マップの作成の指導など、自主防災会等の設立にも積極的に関わります。



入本 和男

〈あきの会〉

入本 「市の花」「市の木」制定はいつか。

市長 19年度に市民の公募を行い、第2庁舎の落成式に発表します。

入本 市の負担金、委託費等の検討は。

市長 一層の精査を行い適正かつ効率的な金額を設定し、引き続き進捗管理と情報公開のもとに、財政健全化に向けて行政改革で取り組みを推進します。

入本 商工会も19年4月に合併します、市内共通の商品券を発行し、市の報酬の一部を商品券で対応すれ

選挙は翌日開票

市長／選管と協議

ば地場産業の育成になり、また公共料金の支払も受けでは。

市長 前向きに検討します。

入本 市の選挙は翌日開票で経費節減を。

市長 市長選、市議会議員の選挙については市の選管と協議をします。

その他の質問

○いじめ対策等で子ども電話110番設置

○通学路の歩道側に赤ラインを引くことにより事故防止



市内共通の商品券の発行を（甲田町商工会）



市長のマニフェストを



熊高昌三

〈あきの会〉

教員の余裕

教育長／資料作成の簡素化

熊高 情報公開の強化と、児玉市長マニフェスト。

市長 組織力をもった情報伝達も大切だが、土日曜などの小さな会でも出席し辻説法で説明します。

19年度の政策は予算編成の中で整理し提案します。

熊高 子どものいじめ問題対応へ教員の余裕が必要では。

教育長 研究発表の資料作成等は簡素化し教員にゆとりを持たせ、子ども達の変化に気づく仕組みづくりと学校全体で情報の共有化を図ります。

家庭では「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、一回は子どもと向きあう環境づくりと、保護者と教員の連携を密にし、地域の見守り活動等の協力を得、余裕のある教育現場にします。

熊高 各地域に防災備蓄センターを。

市長 各支所を中心にすでに検討しております。

次代育成の環境整備

市長／行政・市民・議会の役割



今村義照

〈あきの会〉



協働のまちづくりの基本条例を

今村 協働のまちづくりを目指すことの意義を、市民にわかり易く説明する基本条例を制定されないか。

市長 自治基本条例は「自治体の憲法」ですが、協働のまちづくりを行政の基本として進めています。まちづくりのあり方、行政、議会、市民の各役割、協働のまち

づくりの施策や制度の体系等について整理し制定することは今後の課題です。

今村 今の財政状況を市民に説明を。

市長 さわめて厳しい財政状況にあり、行政改革を最優先して行い、その後、将来の計画について説明します。



岡田 正信

〈日本共産党の会〉

国民の貧富と格差

市長／同等な行政サービス

岡田 自民党、公明党の連立政権のもとで、国民の貧富の格差が広がっている。安芸高田市も国、県

からいじめられているのが実態だ。「各種の住民サービス、負担金、補助金」がいまだに不均等です。児玉市長の行政手腕が問われているが。

市長 市民意識の一体性を高めて、市内全域へ同等な行政サービスを提供するよう早期に取組みます。



農業施設の簸川灌漑用排水（八千代町）

岡田 農業施設の簸川灌漑用排水の公費負担はダム建設と深くかかわる事だが、受益者負担ゼロというのは、市全体からみて、不均等ではないか。

市長 地域の歴史を十分考慮しながら対応していきます。

岡田 農家法人が増えれば戸数の減少と合わせて、地方交付税が減額されると聞くが。一戸当たり15万円になりはしないか。

市長 地方交付税制度の中にあつて、測定単位として「農家数」があります。当市は9万5千円で積算しています。

心よりお悔やみ
申し上げます。



小野剛世議員が1月12日ご逝去されました。

小野議員は、平成15年4月30日に向原町議会議員に就任され、合併後引き続き町政、市政の発展にご尽力されました。



なお在職死亡に伴う補欠選挙は、平成20年4月17日に任期満了となる市長選と同時に実施されます。
(本市選挙管理委員会)

傍聴記

八千代町勝田
籠田昭造さん

2日間にわたり、わりあい長時間傍聴した。財政健全化が喫緊の課題であるとの言葉は飛び交うが、逼迫感が伝わってこないのはなぜか？補助金のカットをはじめ市民に求めんとする負担増大に相応しい人件費削減の具体策や議員定数の見直しなど、自らの身をも削るという観念に立った議論を避けているからであろう。行政・議会の動向を引き続き刮目していきたいと思う。

公民館活動で習字教室

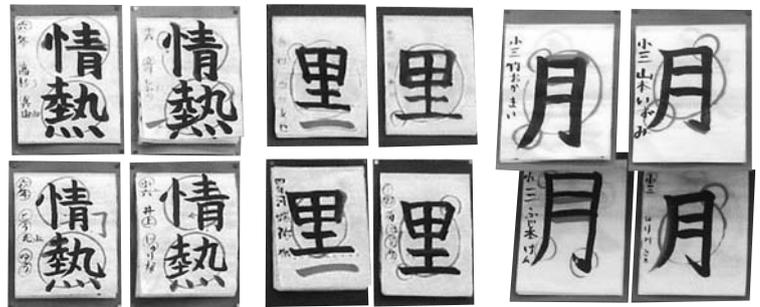
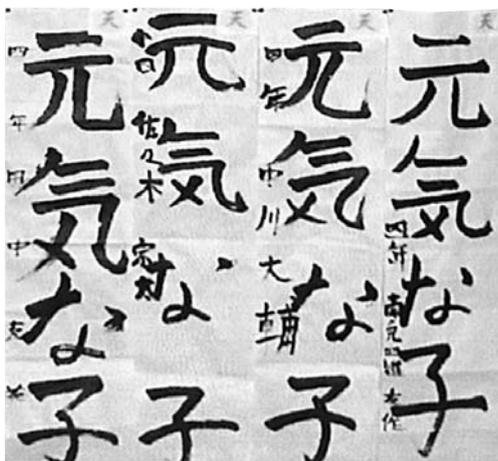
菅野康男さん



講師は菅野康男さんです。

現在美土里町の公民館活動の一環として一般市民を対象にした習字教室や美土里小学校で習字指導もされております。日本習字教育連盟の五段の資格を持っておられます。

先生の教育理念は子どもたちが持っている「長所を伸ばし光らせてやる」ことだそうです。



小学校の指導



第59回 広島県児童生徒書道展で
学校の部奨励賞に入賞された美土里小学校の作品



地域のかがやき

吉田 書初め大会



吉田地区振興会 主催

八千代 地産地消は安全な食材



八千代産直市にて

美土里 馬とのふれあい ホースセラピー



美土里町北 エオの谷ノースーグル

高宮 翔け 用地集落



獣害対策

甲田 地域の活力 とんど



15戸で力を合わせて頑張る 下庄地区

向原 「こりゃあ～ ようできとるのう」 『やすらぎ』で販売



向原町戸島 従金敏行さんの作品

迎春

お健やかに初春をお迎
えのこととお慶び申し上
げます。

さて3月から19年度の
予算審議が始まります。
市議会の第1回選挙から
2年が経過し各委員会の
メンバーが大幅に変わ
りました。議会広報委員も
経費節減のため9名から
6名になりました。これ
からはこの6名で「議会
だより」の編集にあた
ります。議会の審査や活
動の様子など、わかりやす
い広報づくりに努力しま
す。「議会だより」に関
するご意見をぜひお寄
せ下さい。

〈議会広報特別委員会〉

議長 松浦 利貞
委員長 入本 和男
副委員長 加藤 英伸
委員 明木 一悦
秋田 雅朝
塚本 近
松村ニキミ

編
集
後
記

● 次の定例会は3月の予定です。お気軽に傍聴してください。
お問い合わせは議会事務局(☎0826-42-5621・有線2607-03)までお願いします。